

Trados の使い方
第 4 章
Multi Term の使用方法

1. Multi Term は、Trados Studio とは、別個のソフトであり、別途の exe ファイルを実行してインストールする必要があるが、使用時には Trados に組み入れられており、Multi Term を個別に起動することはない。

2. 用語の対訳表（「用語ベース」と呼ばれる）は、まずワードの作表により作成する。日本語の列の一番上の行には「Japanese」を入れ、英語の列の一番上の行には「English」を入れる。

3. 各列ごとにコピーして、エクセルの列にペーストして、エクセルの表にする。

4. 作成したエクセルの表を Trados 用の用語ベースに変換する。この変換は、フリーソフトの Glossary Converter をダウンロードし、これを使用して行う。Glossary Converter は、「Glossary Converter」で検索するとすぐに見つかる。ダウンロードのボタンがあるので、これを押して、ソフトをダウンロードする。Windows のエクスプローラーの「PC」フォルダの「ダウンロード」フォルダーに、exe ファイルがダウンロードされる。これをダブルクリックして実行する。しかし、インターネットからダウンロードした exe ファイルを実行してソフトをインストールしようとしても Windows のセキュリティによりブロックされる。「実行できませんでした」という趣旨の表示が現れ、「実行しない」のボタンを押す画面になる。「実行する」のボタンは存在しないので、「実行しない」以外の選択肢は存在しないように見える。しかし、「詳細」という文字があるので、これをクリックすると「実行する」のボタンが現れる。「実行する」ボタンをクリックすると、Glossary Converter がインストールされる。

5. Glossary Converter を起動し、settings を起動し（クリックするだけ）、convert this input で Excel 2007 Workbook を選択し、into this output で Multiterm Termbase を選択する。なお、ここで、SdlTm を選択すると、Trados の TM になる。上記 3 で作成した用語対訳のエクセルファイルを、Windows の Explorer から Glossary Converter 上にドラッグすると、エクセルファイルが入っているフォルダーに、Multiterm Termbase が自動生成される。

6. 翻訳時には、Trados の editor 画面で右上の窓の「AZ」のボタンをクリック

して、用語ベースを選択する。

7. editor の訳文セルにカーソルを置くと、用語ベースに用語が登録されている場合には、原文の用語の上に赤色のオーバーラインが表示される。

8. 赤色のオーバーラインがある場合には、editor 画面の右上のウィンドウの「用語認識」ボタンをクリックすると、訳語が現れる。

9. 訳文セルにカーソルを置いた状態で、Ctrl+Shift+L を押すと、用語ベースの訳語が訳文セルのカーソル位置に挿入される。用語ベースに登録されている後が1つの原文セルに複数存在する場合には、全ての対訳が訳文側にウィンドウ表示されるので、カーソルで選択し、Enter を押して挿入する。